

GPT-5最新情報レポート（2025年10月版）

GPT-5のモデル概要

リリース日と名称: OpenAIは2025年8月7日に最新モデル「GPT-5」を公開しました¹²。GPT-5は従来のGPT-4シリーズを大きく上回る**知性と性能を備えたフラッグシップモデル**であり、開発コードネーム上は「**OpenAI oシリーズ**」（o1、o3 など）の成果を統合したものとなっています³。特にGPT-4のマルチモーダル版である**GPT-4o**（「o」は“omni＝包括”的の意）や、高度な推論に特化した**OpenAI oシリーズ**モデル（o1やo3プロ等）の技術がGPT-5に集約されています³。

提供開始とモデル名: GPT-5は公開当日よりChatGPTの新たなデフォルトモデルとして提供され、無料ユーザーを含む**全ユーザーが利用可能**となりました⁴。ChatGPT Plus加入者はより高い使用回数上限が与えられ、さらに上位のChatGPT Pro加入者には「**GPT-5 Pro**」と呼ばれる拡張推論版モデルへのアクセスが付与されています⁵⁶。GPT-5 ProはGPT-5の派生モデルで、極めて難解な問題に対し長時間推論することで最も包括的で正確な回答を生成します⁶。

搭載アプリと提供形態: GPT-5は**ChatGPTウェブ版**（無料版/Plus/Pro）に統合されただけでなく、**ChatGPT Enterprise/Teams**（企業向け）や**教育向けプラン**にも順次展開されました⁷。また**OpenAI API**にも同日提供されており、開発者はプラットフォーム上でGPT-5系モデル（標準版・mini・nanoなど）を利用できます⁸。企業向けには、組織内で高度な推論が必要な場合にGPT-5 Proを利用できるオプションも用意されています⁹¹⁰。要約すると、**ChatGPTの全プラン（Free/Go/Plus/Pro/Enterprise）でGPT-5が利用可能**であり、上位プランほど利用量や高機能版へのアクセス面で優遇されます¹⁰。

モデルの統合: GPT-5ではChatGPT上のモデル選択インターフェイスが簡素化されました。以前はGPT-4やGPT-4o、あるいは推論重視モデル（o1やo3シリーズ）を個別に選択していましたが、GPT-5では**単一の統合モデル**として振る舞います¹¹。ユーザーが通常どおり質問を入力すれば、背後ではGPT-5が**自動的に最適な応答モード**を判断します。具体的には**軽い質問には高速応答モデル**で素早く答え、**難しい問題には深く「考える」モデル**（GPT-5 Thinkingモード）を自動投入する仕組みです¹²¹¹。この内部ルーターのおかげで、ユーザーは明示的にモデルを切り替える必要がなくなりました。なおPlus/Proなど有料ユーザーは設定で「GPT-5 Thinking」を手動選択したり、プロンプト中に「じっくり考えて」と指示して強制的に深い推論を行わせることも可能です¹³。

GPT-5の主な特徴・強化点（GPT-4およびClaude 3、Gemini 2.5との比較）

GPT-5は前世代モデルや競合モデルと比べて、様々な面で大幅な強化が図られています。以下では**コンテキスト長、処理速度、記憶・履歴保持、論理推論や数学能力、コード生成、マルチモーダル対応、セキュリティ（安全性）とハルシネーション率**といった観点でGPT-5の特徴を整理し、必要に応じてGPT-4やAnthropic社のClaude 3系、GoogleのGemini 2.5系モデルと比較します。

- ・**コンテキスト長（トークン長）:** GPT-5では入力文脈を保持できるコンテキストウィンドウが飛躍的に拡大されました。API経由では**最大約40万トークン**もの超長文コンテキストを処理可能で¹⁴¹⁵、ChatGPTアプリ上でも**約25万6千トークン**前後まで保持できます¹⁶。これはGPT-4（8K～32K程度）と比べ桁違いに長く、**長大な会話や文書でも冒頭から最後まで一貫して参照・分析**できることを意味します¹⁷。例えば数百ページに及ぶ資料や本全体を一度に与えても、GPT-5はその全内容を考慮した

応答が可能です。一方、AnthropicのClaude 3も最大20万～100万トークン級の長大な文脈に対応するモデル（Claude 3.5/3.7やOpusなど）を提供しており、この点ではGPT-5と同じく非常に長い入力に対応できます¹⁸。GoogleのGemini 2.5 Proはさらに**最大100万トークン以上**を扱えるとされ¹⁹、開発者から「コードベース全体を1プロンプトで読み込める」と評価されています²⁰。総じて2025年時点の最新モデルはいずれも10万～百万トークンスケールの文脈長を持ちますが、**GPT-5はChatGPT上で手軽にその長大な文脈処理を体験できる点でユーザビリティが高い**と言えます。

・**処理速度（応答の速さ）**： GPT-5は「必要に応じて考える」**適応型のアーキテクチャ**を採用することで、全般的な対話応答の体感速度を向上させています²¹。簡単な質問には推論を省略して即座に答えるため、**GPT-4よりレスポンスが早く感じられる**ケースが多いです。OpenAIのSam Altman氏も「GPT-5ではもう旧モデルには戻れない、と感じるほどだ」とその洗練ぶりを表現しています²²。実際ChatGPT上ではGPT-4に比べタイピング速度が向上し、システムが回答を出し終えるまでの待ち時間が短縮されています（特に**“Instant”モード**と呼ばれる軽量応答ではリアルタイムチャットに近い体感速度です²³）。一方で**複雑な問いには時間をかけて推論**するため、場合によっては数十秒～1分程度の思考タイムをとることもあります。しかしこの場合でもユーザーから指示があれば即座に大まかな結論を返し、その後詳細を補完していく柔軟な挙動を示します¹¹。競合モデルを見ると、Anthropic Claude 3シリーズでは**高速版（Claude 3 Haiku）**が用意され即時応答に強く、通常版（Claude 3 Sonnet/Opus）もClaude 2比で2倍程度の速度向上が報告されています²⁴。Gemini 2.5でも軽量モデル（Gemini Haiku）は大変高速で、10Kトークンの学術論文を**3秒足らずで読解**した例もあるとされています²⁵。総じてGPT-5を含む最新LLMは**問合せ内容に応じて速度と精度を両立**する設計がなされており、ユーザーはストレスなく高度なAI応答を得られるようになっています。

・**記憶力・会話履歴保持**： GPT-5の大容量コンテキストにより、**長い会話の履歴や大量のドキュメント情報を保持したまま対話**できるようになりました。ChatGPT上では過去の発言を自動要約・整理する「**メモリ機能**」も強化され、ユーザーとの重要なやり取りを忘れにくくなっています²⁶。具体的にはGPT-5は会話中に「これまでの経緯」を踏まえた回答がより得意であり、セッションが続いても**冒頭的话题や指示を覚えている**傾向が強まっています。例えば数十ターン前のユーザーの好みや、共有した資料の内容について尋ね直しても、GPT-5はコンテキスト内の情報を引き出して回答できます（ChatGPT Plus/Proでは自動メモリ管理により過去の要点を保持し、重要度の低い細部をバックグラウンド化する仕組みが導入されています²⁷）。これはGPT-4以前では難しかった**長期的一貫性**の向上と言えます。他方、Claude 3も長文読解・長履歴で定評があり、特に**長文の要約や小説並みに長い対話**でも整合性ある回答を返す能力があります²⁸。Gemini 2.5もGoogleの検索知識を活かし大量テキストから必要情報を見失わず抽出できる点が評価されています²⁹。総じてGPT-5により**AIとの長時間対話や長編テキスト分析が実用レベルに達した**といえ、これはユーザー体験を大きく向上させるポイントです。

・**論理推論・数学能力**： 論理的思考力や数学問題への対応はGPT-5で大幅に強化されました。OpenAIはGPT-5を「初めて**PhDレベルの専門家と対話しているように**感じられるモデル」と表現しており³⁰、高度な科学質問集である**GPQA**においても当時の最高水準を達成しています³¹。実際、GPT-5は**抽象的な推論や曖昧な問いへの対応**が得意になり、未知のパズルや複雑な推理問題も手際よく解く傾向が報告されています。また**数学的問題解決**では多段の計算や証明をチェーン・オブ・ソート（逐次思考）でこなし、GPT-4に比べ大幅に正確性が向上しました³²。例えばChatGPT上で難関大学入試レベルの数学問題を解かせたところ、GPT-4では途中で論理飛躍したり誤答したケースがGPT-5では激減しています。さらに「考える」モード時のGPT-5では、**OpenAI o3モデルに比べハルシネーションが6分の1以下に激減した**と評価されています³³。一方、Anthropic Claude 3.5/3.7も**難解な問題に粘り強く取り組む姿勢**で知られ、オープンエンドな思考課題ではClaudeがGPTより丁寧に推敲するとの指摘もあります³⁴。ただ総合的な知識量・推論力ではGPT-5（特にPro版）のほうが一段上と見る専門家が多く、MMLUベンチマーク（知識テスト）でもGPT-5 Proは約88%正解でClaudeやGeminiと同等以上のスコアを記録しています³⁵³⁶。

・**コード生成能力:** GPT-5は**コードの理解・生成において歴代モデル最高性能を示しています** ³⁷ ³⁸。特に複雑なプログラムやフロントエンドUIの生成では、**要望を与えるだけで完全なアプリを一から構築**する実例が多数報告されています ³⁷。OpenAIによればGPT-5は難易度の高いコーディングベンチマーク（SWE-Benchなど）で他モデルを凌駕し、「**ソフトウェアをオンデマンドで生み出す時代**」を切り拓くと評されています ³⁸。実際、GPT-5は1つのプロンプトから数百行に及ぶコードを数秒で生成し、即座にそのコードで動作するWebサイトを構築してみせるなど、開発者を驚かせるデモが行われました ³⁸。一方、Claude 3.5/3.7もコード生成では堅実で、**既存コードへの小規模な修正やバグ修正**においては「指示に忠実で過剰な改変をしない」という点で開発者から信頼されています ³⁹。ただしClaudeは大規模なリファクタリングや再設計となると慎重すぎて非効率になりがちで、その点**GPT-5は大胆かつ的確にコード全体を書き換える能力があります** ⁴⁰ ⁴¹。Google Gemini 2.5は巨大なコードベースの理解とリファクタリングで非常に高い評価を受けています。特に**最大100万トークンのコードを一度に解析し、抜本的な修正提案を返すことが可能で**、Claudeや従来GPTが手こずった問題も一撃で解決した例があります ⁴⁰ ⁴²。ただGeminiは積極的にコードを書き換えすぎる傾向も報告されており、**GPT-5の方が指示に沿った適度な粒度の提案をしやすい**との声もあります ⁴³ ⁴⁴。総じて、**コード生成・デバッグ分野ではGPT-5が一步リードし**、続いてGeminiが巨大コンテキストを活かして追う構図、Claudeは安定性重視で場面により使い分けられる状況です。

・**マルチモーダル対応:** GPT-5は**テキストに加え画像・音声・動画まで扱えるマルチモーダルAIです** ⁴⁵ ³⁶。GPT-4では画像解析（Vision機能）が限定公開されていた程度でしたが、GPT-5ではChatGPT上で画像や図表を読み取って分析したり、音声入力・出力を行う機能が強化されています ⁴⁶ ⁴⁷。さらにBytePlusのレポートによれば**動画フレームの処理**まで可能となり、例えば動画内のシーンを要約したり説明文を生成するといったこともインターフェース上でシームレスに行えるようになったといえます ¹⁷。実際、ユーザーが植物の写真をアップロードして「この観葉植物が黄色く変色する原因は？」と尋ねると、GPT-5は画像を解析しつつ問題点（写真はサボテンなので質問者の「スネークプラント」は別物である点など）を指摘し、適切な植栽管理アドバイスを返す、といった高度な応答が確認されています ⁴⁸。競合のClaude 3も画像理解と音声入力（読み上げ）には対応しており、多様なビジュアルフォーマット（写真、グラフ、図表等）を処理できます ⁴⁹。ただ現時点で動画そのものの解析や生成に対応したとの言及はなく、OpenAIの動画生成モデル**Sora**など専用ツールとの連携になります。一方、GoogleのGeminiは開発段階から**ネイティブにマルチモーダル対応**を掲げており、テキスト・画像・音声はもちろんGoogleの強みである動画・YouTubeコンテンツの分析にも強いと言われます ²⁹。Gemini 2.5では実際にUIデザイン画像を入力してコーディングさせると、GPT系より正確に画面を再現したとの報告があり ³⁴、視覚情報の扱いで一日の長があるようです。総じてGPT-5は「**言語+画像+音声+動画**」の**複数モードを単一チャットで扱える**点で画期的であり、他社もそれぞれマルチモーダル強化を進めていますが、ChatGPTという統合環境で手軽に使えるGPT-5の利便性は群を抜いています。

・**セキュリティとハルシネーション率:** GPT-5では**安全性の向上と誤情報（ハルシネーション）低減**にも大きな成果が見られます。OpenAIの発表によると、GPT-5の回答が**事実誤りを含む確率はGPT-4o比で約45%減少**しており、特に推論モード使用時にはOpenAI o3モデル比で誤情報が80%も減ったと報告されています ³²。また公開ベンチマークでも、GPT-5（Thinkingモード）は前モデル（o3）に比べ**ハルシネーション発生率が約6分の1と劇的に改善**しました ⁵⁰ ⁵¹。これは長文回答でも一貫して正確な内容を維持できる飛躍と言えます。一方で、完全に誤りがなくなったわけではなく、依然として**高い自信で間違った回答をするリスクはゼロではありません** ⁵²。OpenAIはこの問題に対処するため、GPT-5に「**セーフ完了 (safe completion)**」という新たな安全訓練手法を導入しました ⁵³。従来は有害の恐れがある質問に対し一律拒否することが多かったですが、GPT-5は**ユーザーの意図を汲み取りつつ安全な範囲で部分回答する**アプローチを取ります ⁵⁴ ⁵³。例えば危険物の具体的製造法を問うようなケースでは、「一般論として必要なエネルギーを説明する」に留め、詳細な手順は提供しない、といった**柔軟な応答**を返します ⁵⁴。このセーフ完了により不必要な拒否が減り、かつ有害な詳細提供も防ぐという**バランスの取れた振る舞い**が実現されています ⁵³。競合モデルでは、Anthropic Claudeシリーズが創業以来**AIの安全性**を最重視しており、憲法

AI(Constitutional AI)と呼ばれる独自のポリシーに基づき**有害な出力を避けつつ誠実な回答**を返す方針を徹底しています⁵⁵。Claudeはそのため不要な拒否をすることもありますが、Claude 3ではルールを守りつつ柔軟に回答できるよう改善され、**不要な過剰拒否が減った**と報告されています⁵⁶。Googleのモデルも社風として保守的で、Geminiでもファクトチェック機能や検索連携を通じ**高い信頼性**を確保しているとされます²⁹。実際Geminiは正確な情報提供という点で定評があり、誤情報が出にくいとの評価があります²⁹。全体としてGPT-5は安全性・正確性の両面で前モデル比大きな進歩を遂げ、**競合モデルと遜色ないレベルの低ハルシネーション率と柔軟な安全対応**を実現していると言えるでしょう。

以下に、GPT-5と主要モデルの比較を表にまとめます。

主要モデル比較（2025年末時点）：

特性	GPT-5 (OpenAI)	GPT-4 (OpenAI)	Claude 3 (Anthropic)	Gemini 2.5 (Google)
最大コンテキスト長	~400K トークン（ChatGPTでは~256K） ^{17 15}	8K（拡張版で32K）	200K（一部ユーザーに最大100万トークン提供） ¹⁸	~100万 トークン ¹⁹
マルチモーダル対応	テキスト・画像・音声・動画 ¹⁷	テキスト（画像入力は限定公開） ^{57 47}	テキスト・画像・音声 ⁴⁹	テキスト・画像・音声・動画（ネイティブ対応） ²⁹
論理推論・数学性能	PhD級の専門家レベル ³⁰ 。GPT-4o比で大幅向上 ³²	高いがGPT-5に劣る（大学生レベル） ³⁰	複雑な推論が得意で慎重 ^{34 56}	膨大な知識に基づき高精度な回答 ²⁹
コード生成性能	最高水準（大規模コードも一括生成） ³⁸	強力だがGPT-5が上回る	安定した小規模修正が可能 ³⁹	大規模コード解析に強み（全コードベースを処理） ²⁰
ハルシネーション率	大幅低減（誤情報45%減） ³² 。セーフ完了で柔軟応答 ⁵³	時に誤答（知識不足時にハルシネーション）	低め（倫理規範で制御し安全） ⁵⁵	低め（検索技術で高信頼性を担保） ²⁹

利用可能なプランと価格

ChatGPTにおけるGPT-5提供プラン： GPT-5はChatGPTの無料プランから有料プランまで幅広く提供されています。ただし、各プランで利用条件や上限が異なります。

- ・**無料プラン（ChatGPT Free）：** 無料ユーザーもGPT-5にアクセスできますが、**1日に利用できる回数や生成長さに制限**があります⁷。未ログイン（サインアウト状態）でもデフォルトモデルは2025年10月からGPT-5 Instantとなり²³、高品質な回答を誰でも得られるようになりました。ただし無料利用では一定量のGPT-5トークンを消費すると**自動的に軽量版モデル（GPT-5 mini）に切り替わる**仕組みです¹⁰。GPT-5 miniはGPT-5を小型化した高速モデルで、精度はやや劣るものの多くの質問に十分答えられます。
- ・**ChatGPT Plus（有料・月額約20ドル）：** 従来からの個人向け有料プランで、GPT-5を**デフォルトモデル**として制限少なく利用可能です⁷。Plusでは無料版より大幅に多いトークン量を毎月使用でき、

長文の入力や高度な分析を含むやりとりも快適に行えます¹⁰。加えて、ChatGPTの**拡張機能**（Advanced Data Analysis＝旧Code Interpreter、プラグイン機能、GPTストアのカスタムGPT利用など）も引き続き利用できます。価格は日本では月額約2,700～3,000円程度で、個人ユーザーやプロフェッショナルが主な対象です。

- **ChatGPT Pro（有料・月額約200ドル）**：2025年に新設された上位プランで、Plusの全機能に加え**GPT-5 Proモデルへのアクセス**が特徴です⁵⁸⁶。Pro加入者は**GPT-5の使用量が実質無制限**となり、長大なやり取りや大量データ分析でも制約が緩くなっています¹⁰。さらにGPT-5 Pro（より長時間推論する高精度版）を選択して**高度な研究開発用途**にも対応できます⁶。価格は個人には高額ですが、その**企業並みのリソース**が割り当てられるイメージです。またPro限定の新機能プレビュー（Atlas機能など）も随時提供され、最先端のChatGPT体験が可能です。
- **ChatGPT Enterprise/Teams（企業向けプラン）**：ビジネス利用者向けに提供されるプランで、1ユーザーあたり月額25ドル（年契約）程度から利用できます⁵⁹。Enterprise版では**全社員が制限少なくGPT-5を利用可能**で、組織向け管理機能やセキュリティ（データ暗号化やSOC2準拠）も含まれます⁶⁰⁶¹。GPT-5 Pro相当の高度な推論も使え、必要に応じ**追加クレジット購入で柔軟にトークンを増量**できます⁶²。また**企業データと連携したカスタムGPT**（社内文書を理解する社内GPT等）や**Slackなど他ツールとの統合**もサポートされ、業務内でGPT-5を最大限活用できる環境を提供します⁶³⁶⁴。教育機関向けのEduteamsプランも類似の内容で提供されています⁷。

APIでの利用と料金：開発者向けにはOpenAI API経由でGPT-5シリーズモデルが提供されています。料金は2025年末時点で**入力トークン100万あたり約1.25ドル、出力トークン100万あたり10ドル程度**（GPT-5標準モデルの場合）と公表され⁶⁵、GPT-4 APIと比較しても**大幅な低価格設定**となっています⁶⁵。これはOpenAIが利用拡大を図り価格戦略を見直したためで、API利用者にとってはコストパフォーマンスが向上しています。さらに用途に応じて**GPT-5 mini**（廉価高速版）や**GPT-5 nano**（超廉価版）も用意されており、例えばリアルタイム性が求められる大量リクエスト処理にはmini/nanoを使い、精度重視部分だけ標準GPT-5やProを使う、といった柔軟な使い分けが可能です⁶⁶¹⁴。API経由でもテキスト・画像を統合したリクエストが可能で、開発者は自前のアプリケーションからGPT-5のマルチモーダル能力を呼び出せます。

GPTストアでの位置付け：2023年に発表された**GPTストア（カスタムGPT共有マーケット）**にもGPT-5は深く関与しています。GPTストアではユーザーや開発者が目的別にチューニングした「カスタムGPT」（チャットボット）を公開・利用できますが、その**内部で動くモデルのデフォルトがGPT-5にアップグレード**されました⁶⁷⁶⁸。2025年10月の移行期間後、従来GPT-4系列で構築されたカスタムGPTは自動的にGPT-5等価モデルへマッピングされています⁶⁷。例えば**GPT-4oやGPT-4.5で作られたGPTはGPT-5に、OpenAI o3で構築されたGPTはGPT-5 Thinkingに、o3-proで構築されたものはGPT-5 Proに**それぞれ置き換えられる仕様です⁶⁷。管理者がGPT-5 Pro利用を制限している場合は該当GPTが通常のGPT-5にフォールバックするなど、ワークスペース設定に応じて自動制御されます⁶⁹。このようにGPTストア上でも**GPT-5が標準モデル**となったことで、ユーザーはストア掲載の数百万規模のカスタムGPT群を高精度なGPT-5エンジンで動かすことができます⁷⁰（無料ユーザーもストアから好きなGPTを呼び出せます）。GPT-5時代の到来により、ストア上のチャットボット体験も全般に底上げされたと言えるでしょう。

ユーザーの評価・専門家の比較レビュー

ChatGPT内のモデル比較（Plus/Pro環境）：GPT-5導入後、従来利用できたGPT-4やGPT-4oなどとの挙動の違いがユーザーから様々に指摘されました。まず多くのPlusユーザーが感じたのは、GPT-5の回答が「**より正確だが幾分フォーマルすぎる**」という点でした⁷¹。GPT-4oはフレンドリーさや個性がありましたが、GPT-5初期は丁寧すぎて冷たい印象を受けたとの声が上がリ、実際OpenAIのAltman CEOも「ローンチ時にいくつか間違いを犯した」と認めています⁷¹。このフィードバックを受け、OpenAIはGPT-5の語調を迅速に調整し「**より温かみのある応答**」になるようスタイルを改善しました⁷²。さらに要望に応じて**GPT-4o等の旧モデルも有料ユーザー向けに再公開**し、好みに応じて使い分けできるよう配慮しています⁷¹。結果として現在

のChatGPT Plus/Proでは、デフォルトGPT-5を使いつつ必要に応じGPT-4系モデルに切り替えることも可能で、ユーザーは**複数モデルの長所を活かして使い分けて**います。

使い勝手の違い: GPT-5は前述のとおりモデル自動切替でシームレスに動作するため、Plusユーザーからは「**もはやモデル選択に悩む必要がない**」との評価があります¹¹。一方で、Proユーザーが使えるGPT-5 Proモードは非常に高性能な**反面応答に時間がかかる**こともあり、日常会話よりは専門的タスク時に限って利用するケースが多いようです⁶¹³。「普段は通常GPT-5で十分、高精度が欲しい時だけProを使う」といった使い分けがなされており、これはAnthropic Claudeの軽量版（Haiku）と高精度版（Opus）を用途で使い分けるのに似ています²⁵²⁴。ChatGPTのインターフェース自体も改善されており、**4種類の応答スタイル（シニク・ロボット・リスナー・ナード）**を選べる機能や、会話ごとにテーマカラーを変えるUIカスタムなども追加されました⁷³。総じて、Plus/Pro環境においてGPT-5は**最もバランスが取れたメインモデル**となり、旧モデルは特殊な質問や懐かしいスタイルを求める場合のサブ的な位置付けになっています。

Claude 3.5/3.7やGemini 2.5との比較: 専門家や高度ユーザーのレビューでは、GPT-5と他社モデルの**強みの違い**が分析されています。Anthropic Claude 3.5/3.7に関しては、まず**日本語の丁寧な表現力**でClaudeが優れているとの評価があります。実際、日本人ユーザーから「ビジネス文書の作成や敬語表現の自然さではClaudeが随一だ」という声もあり²⁸、Claudeは安全志向なチューニングのおかげで**失礼のない丁寧な回答**を生成するのが得意です⁵⁵。また長文要約や文章の一貫性でもClaudeは高品質で、**一度に与えた大量テキストを破綻なく整理する**能力はGPT-5と肩を並べるか、それ以上と評価する向きもあります²⁸。一方で知識量やコーディング性能ではGPT-5が勝るため、**総合力ではGPT-5優位**との意見が多いようです³⁶。特にプログラミング用途では「Claudeは慎重でミスは少ないが大規模改変には向かない。GPT-5は大胆かつ理に適った提案をしてくれる」との開発者レビューがあり、両者のキャラクターを反映しています³⁹⁴¹。

Google Gemini 2.5 Proとの比較では、**Geminiの桁外れの文脈長と知識統合**力が注目されています。GeminiはGoogleの検索データを背景に持つため、**最新情報や事実確認に強く信頼性の高い回答**を返す点が評価されています²⁹。また前述の通り最大100万トークン規模のコンテキストを活かし、巨大なコードベースや複数文献の横断分析ではGPT-5を凌駕する場面もあります²⁰。実際、「ClaudeやGPT-4では数時間かかった問題をGemini 2.5なら一度のプロンプトで解決した」という開発者報告もあります⁴²。マルチモーダル面でもGeminiは画像からUI要素を読み取ってコード生成するなど高度な視覚理解を示し、GPT-5やClaudeより**視覚情報を忠実に扱える**との実験結果が報告されています³⁴。もっともGeminiには「回答が冗長」「指示しない部分まで勝手に手を加える」傾向も指摘されており⁷⁴⁴³、その積極性ゆえに**結果をユーザーが取捨選択する手間**が生じる場合もあります。GPT-5はどちらかというユーザー意図をくみ取って必要な範囲で応答するため、「Geminiはパワフルだが扱いに注意が要る。GPT-5は安定しており扱いやすい」という評価も一部ではなされています⁴⁴。

総合評価: 以上のように、GPT-5は**総合的な知性・応答品質・使い勝手に現時点トップクラス**との評価が大勢を占めています。OpenAI自身も「コード、文章、医療など多くの分野で世界最高のモデル」と自負しています⁷⁵。一方、AnthropicやGoogleといった主要プレイヤーもそれぞれ長所を伸ばしており、「**GPT-5一強ではなく各モデルが特徴を競い合う時代**」になりつつあります。利用者の声としては、「創造的な文章生成や長文要約はClaudeも優秀なので使い分けたい」「最新の網羅的知識が必要な時はGoogle系のほうが安心感がある」といった具体的な使い分け提案も見られます。また日本語での利用に関しては、GPT-5も大幅に改善されたとはいえ**敬語やニュアンス表現でClaudeの安定感を推す意見も根強い**です²⁸。今後、各モデルがお互いの弱点を補いながら進化することで、ユーザーは用途に最適なAIを選択できるようになるでしょう。GPT-5の登場により、AI業界は新たな競争と協調の局面を迎えており、その動向から今後も目が離せません⁷⁶⁷⁷。

参考文献・出典（主要な公式発表および報道より）：

- OpenAI公式ブログ「Introducing GPT-5」(2025)¹³² 他
- OpenAI Help Center リリースノート (2025)²³

- OpenAI公式「GPT-5 and the new era of work」(2025) 3 9
- The Verge報道「GPT-5 is being released to all ChatGPT users」(2025) 30 38
- Anthropic公式ブログ「Claude 3 model family」(2025) 18 56
- BytePlus Tech Blog「ChatGPT 5: A new era of AI has arrived」(2025) 71 17
- Qiita記事「2025年版 LLM徹底比較」(2025) 28 29
- 16xPrompt開発者ブログ比較記事(2025) 20 39 等.

1 5 6 7 10 12 13 21 31 32 33 37 50 51 53 58 Introducing GPT-5 | OpenAI

<https://openai.com/index/introducing-gpt-5/>

2 4 15 16 17 71 ChatGPT 5: Features, Release Date & Updates 2025

<https://www.byteplus.com/en/topic/514130>

3 9 GPT-5 and the new era of work | OpenAI

<https://openai.com/index/gpt-5-new-era-of-work/>

8 11 22 30 38 52 54 73 75 GPT-5 is being released to all ChatGPT users | The Verge

<https://www.theverge.com/openai/748017/gpt-5-chatgpt-openai-release>

14 45 48 GPT-5 is here | OpenAI

<https://openai.com/gpt-5/>

18 24 25 49 56 Introducing the next generation of Claude \ Anthropic

<https://www.anthropic.com/news/claude-3-family>

19 20 34 39 40 41 42 43 44 74 77 Gemini 2.5 Pro vs Claude 3.5 & 3.7 Sonnet for Coding: Which LLM Wins? | 16x Prompt

<https://prompt.16x.engineer/blog/gemini-25-pro-vs-claude-35-37-sonnet-coding>

23 26 27 64 ChatGPT — Release Notes | OpenAI Help Center

<https://help.openai.com/en/articles/6825453-chatgpt-release-notes>

28 29 35 36 55 【2025年版】GPT-5/Gemini/Claude/Grok 徹底比較！開発者が選ぶべき「使える」LLMはどれ？API料金から性能まで完全ガイド #ChatGPT - Qiita

<https://qiita.com/okikusan-public/items/bee8d180dc0e85aa34f8>

46 47 57 GPT-4o - Wikipedia

<https://en.wikipedia.org/wiki/GPT-4o>

59 60 61 62 63 ChatGPT Pricing | OpenAI

<https://openai.com/business/chatgpt-pricing/>

65 OpenAI priced GPT-5 so low, it may spark a price war - TechCrunch

<https://techcrunch.com/2025/08/08/openai-priced-gpt-5-so-low-it-may-spark-a-price-war/>

66 OpenAI Introduces GPT-5: Standard, Mini, and Nano Models

<https://www.metaltoad.com/blog/openai-introduces-gpt-5-standard-mini-and-nano-models>

67 68 69 GPTs (ChatGPT Enterprise version) | OpenAI Help Center

<https://help.openai.com/en/articles/8555535-gpts-chatgpt-enterprise-version>

70 OpenAI's GPT-5 Is Coming Out Soon Here's What to Expect.

<https://sheisforum.com/2960/>

72 GPT-5 is getting “warmer and friendlier.” - The Verge

<https://www.theverge.com/news/760363/gpt-5-is-getting-warmer-and-friendlier>

76 I talked to Sam Altman about the GPT-5 launch fiasco - The Verge

<https://www.theverge.com/command-line-newsletter/759897/sam-altman-chatgpt-openai-social-media-google-chrome-interview>